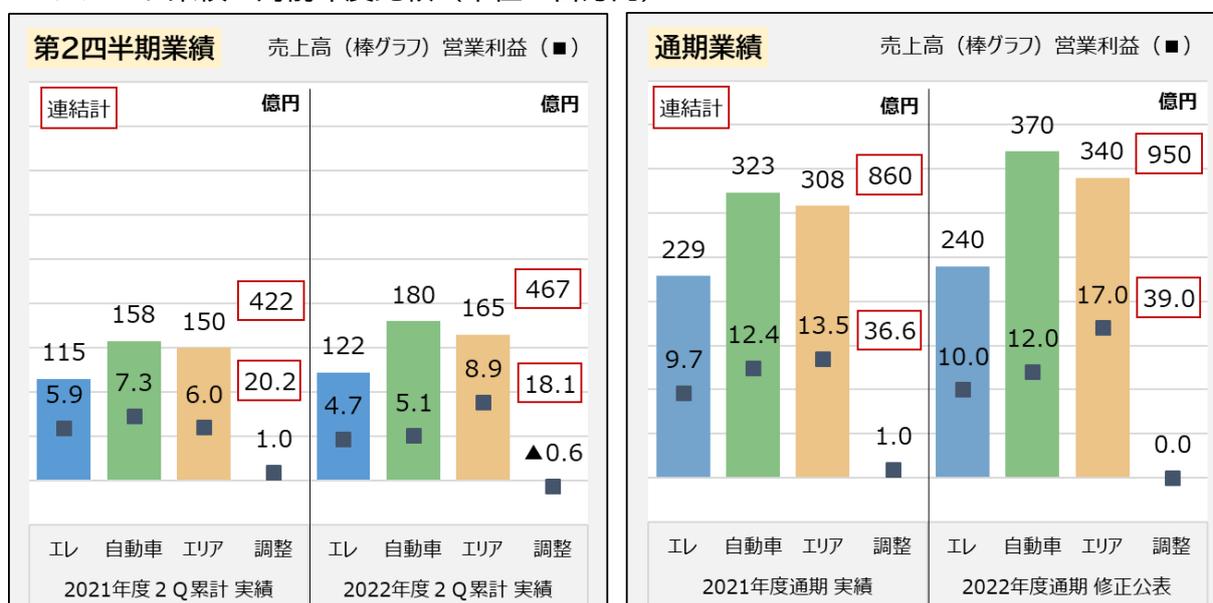


1. 連結経営成績（2022年4月1日～2022年9月30日、累計、単位：百万円）

	2022年3月期（前期）		2023年3月期（当期）		前年同期比	
	第2四半期	通期実績	第2四半期	通期予想	第2四半期	増減率
売上高	42,244	86,019	46,673	95,000	+4,428	+10.5%
営業利益	2,022	3,661	1,811	3,900	△210	△10.4%
経常利益	2,105	3,926	1,872	4,000	△232	△11.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,364	2,421	1,182	2,500	△182	△13.4%

2. セグメント業績の対前年度比較（単位：百万円）



**第2四半期概況【前年比】**

1Qは上海ロックダウンが響くも、2Qは挽回が進み、為替換算の影響(売上+30億円)もあって増収。営業利益は、販管費が増加して減益となった。(為替レート) USD 134.05円 CNY 19.89円

**セグメント別の状況**

(エレクトロニクス関連事業)

- ・ 車載電池・スマホ関連はロックダウンの影響で減少
- ・ 空調機関連はASEANを中心に堅調

(自動車関連事業)

- ・ 中国・日本はサプライチェーンの混乱が続き減少
- ・ ASEANはタイを中心に堅調

(エリア営業等)

- ・ 半導体・工作機械・住設関連は引続き好調

**通期予想【今後の見通し】**

為替換算の影響(売上+60億円)あり通期増収。下期は採算改善を見込み増益を確保する計画。レUTTON懸念あるも、収益体質強化を継続する。(下期前提レート) USD 135円 CNY 20円

**セグメント別の状況**

(エレクトロニクス関連事業)

- ・ 空調機・OA関連で新規拡販と横展開を強化
- ・ 市場シェアが高い顧客の需要にグローバルで対応

(自動車関連事業)

- ・ 需要回復への対応とともに在庫圧縮を推進
- ・ 運賃高騰影響の緩和を期待

(エリア営業等)

- ・ 好調分野への深耕・拡販と海外展開の強化

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。